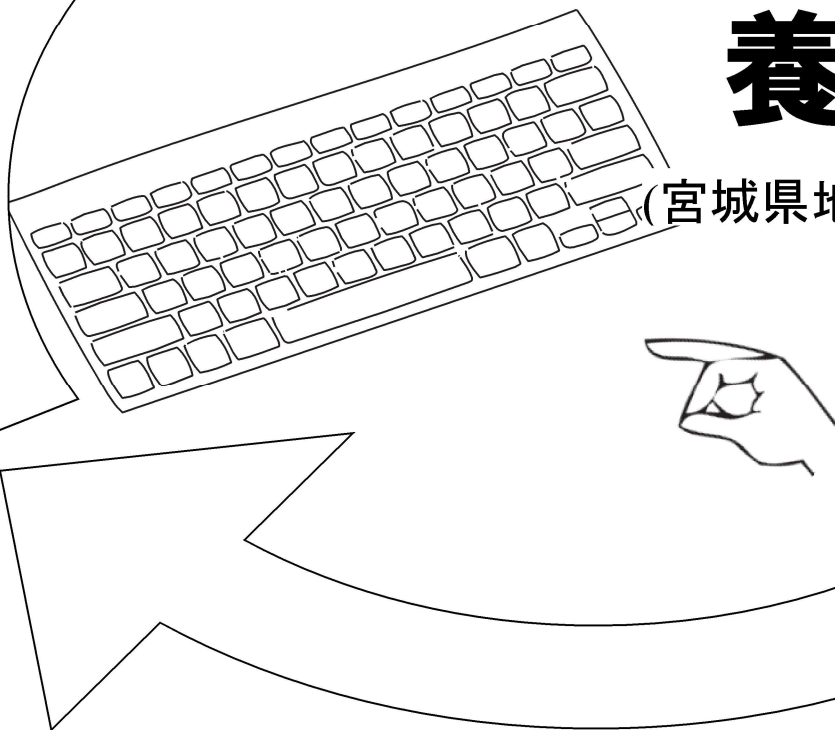


「つながる」を支えたい。

パソコンボランティア 養成講座

(宮城県地域生活支援事業)



～主に、重度肢体不自由、視覚障がいがある方への、パソコン操作・学習支援～

障がい者福祉に理解と熱意があり、文章作成、Web検索、メール等日常的にパソコンを利活用するなど情報通信技術について一定の知識・技能がある方(18歳以上)が受講対象者です。

神経難病等による肢体不自由児・者、視覚障がい者等の障がいがある方々のパソコン機器等の使用に関する支援に必要な技術、知識、価値を学ぶ4日間の講座を行うことにより、パソコンボランティアを養成します。1日のみ受講希望の方も大丈夫ですが、全講座受講希望者を優先させていただきます。



申込み受付、お問い合わせは下記まで
受付締切 定員になり次第締め切ります



社会福祉法人 宮城県障がい者福祉協会
肢体不自由児協会事業

Tel 022-293-2902 Fax 022-291-1588
E-mail : kibounoko@shinsho-miyagi.or.jp

ホームページ <http://kibounoko-miyagi.com/>

※不在時は留守電対応となります。

この養成講座では、上肢障害あるいは視覚障害があり書字が困難な方、言語障害があり言葉を話すことが困難な方にとっては、パソコン等ICT(情報通信機器)関連機器が、「人と人」、「人と社会」をつなぐ可能性がある大切な手立て(コミュニケーションツール)の一つであると考えて、これら機器の利活用を必要とする障害のある人の支援者を養成します。

期 間: 令和4年2月26日(土)27日(日)、3月5日(土)6日(日)

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては延期あるいは中止します。

時間帯: 9時30分から16時00分

会 場: 宮城県障害者福祉センター(仙台市宮城野区幸町4-6-2)

内 容: 人権尊重・権利擁護など障がい者支援に関わる価値観の育成並びに以下の内容について座学あるいは演習形式で学びます。

- ・社会福祉及び障害者福祉の基礎知識(* 大学等で履修済みの方は免除)
- ・パソコンボランティアの活動の実際
- ・障害者の情報入手と活用、コミュニケーション支援について
- ・障害者支援ソフト(肢体不自由者用。音声入力ソフト等視覚障害者用)
- ・意思伝達装置、携帯用会話補助装置等関連機器の理解と演習
- ・自己覚知とコミュニケーション演習

受講対象者: パソコン通信、Web、ワープロソフト等を日常的に利活用するなど情報通信技術に一定の知識・技術を有する方(18歳以上)。

受講日2週間以内に他県の緊急事態宣言区域、まん延防止等重点措置区域への往来が予定されている方はご相談ください。

定員数: 5名(先着順。但し、上記受講対象条件を満たす方)

受講料: 無料

その他: 受講日当日は、検温、マスク使用、手洗い履行等の受講条件に従っていただきます。

- ※ 4日間受講者は、4日間を通して8割以上の受講と確認テストを修了された方には、宮城県知事の修了証が交付されます。

プログラム(予定)

期 日	時間帯	内容(講義、講話以外は演習を含みます)	講師所属団体等
2月26日 (土曜日)	午前	・オリエンテーション ・福祉について(講義)	宮城県障がい者福祉協会
	午前	肢体不自由者とICT支援について	仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター
	午後	AT・AACによるコミュニケーション支援	楽暮プロジェクト
2月27日 (日曜日)	午前	視覚障害者支援ソフト	仙台市視覚障害者福祉協会
	午後	肢体不自由者支援機器・ソフト ipad 等	みやぎ障害者ITサポートセンター
	午後	活動の実際(講話)	パソコンボランティア
3月5日 (土曜日)	午前	重度肢体不自由児者支援について	メイソリューション株式会社
	午後	肢体不自由児者支援機器について	東北福祉大学情報福祉研究室
	午後	障害者福祉概論(講義)	宮城県障がい者福祉協会
3月6日 (日曜日)	午前	コミュニケーションと自己覚知	相談支援事業所ぱるけあであらんて
	午後	ソーシャルワーク概論など	宮城県障がい者福祉協会
	午後	まとめ(確認)今後について	〃